

○天日干し大上段のフレーズで

○どこまでを許すゆっくり噛む御飯

○いろいろあって塩ぬきをする肖像画

○繭の暗渠子宮の暗渠阿頼耶識

○裏返さねば安らぎはない洗い鉢

○放浪癖の風が鈴なりに樹海

○疎外感アンサンブルを顛顛で

○百本の棘を括って花束に

○竹の子を剥く色即是空一切空

○音階を転がる五感よされ節

○水を抱く夏置き去りにかもめーる

○指導要領地下水脈は閉鎖する

